



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結及び個別業績見込み
 並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同期間において特別損失を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第 2 四半期連結累計期間速報値 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	2,544	284	299	669
前 年 同 期 実 績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	2,054	11	28	22
増 減 額 (A - B)	489	273	271	646
増 減 率 (%)	23.8	—	939.8	—
(参考) 平成 27 年 3 月期実績	4,772	488	518	193

(2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
当第 2 四半期個別累計期間速報値 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (A)	2,397	177	212	604
前 年 同 期 実 績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間) (B)	1,995	△8	31	22
増 減 額 (A - B)	401	186	181	582
増 減 率 (%)	20.1	—	570.9	—
(参考) 平成 27 年 3 月期実績	4,572	388	463	147

2. 差異が生じた理由

(1) 連結業績見込み

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)においては、デフレからの脱却と、持続的な社会保障制度の確立を政策課題とし、日本銀行による大胆な金融政策の導入、社会保障と税の一体改革の関連法案の成立など、具体的な施策の取組が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国での市場予測を上回る良好な経済指標や根強い米利上げ観測などが影響し、米国を中心とした景気回復が続いているものの、中国の経済成長の減速や、ギリシャ問題が解決できないEU(欧州連合)及び中東における地政学的リスク等により、先行きは不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の出来高は981,472枚(前年同期比70.6%増)及び金融商品取引等の出来高は1,916,338枚(前年同期比152.5%増)となり、受取手数料は2,375百万円(前年同期比25.4%増)、売買損益は161百万円の利益(前年同期比16.8%増)となり、営業収益2,544百万円(前年同期比23.8%増)、経常利益299百万円(前年同期比939.8%増)を計上する見込みであります。また、後述の3. 特別損失の計上に記載されているとおり、訴訟損失引当金繰入額80百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益669百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円)を計上する見込みであります。

(2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、連結業績見込みと概ね同様でありますので、上記連結業績見込みをご参照ください。

3. 特別損失(訴訟損失引当金繰入額)の計上

当社は、商品先物取引業において、委託者より提起されている民事訴訟について、過去の訴訟による実績率に基づいて将来発生する可能性のある損失を合理的に見積っておりますが、訴訟の経過等に伴い、見積り直した結果、訴訟損失引当金繰入額80百万円を平成28年3月期第2四半期累計期間の連結及び個別決算においてそれぞれ特別損失として計上いたしました。

以 上